

家庭教育セミナーが開催されています

近年、子どもたちの成長過程における家庭教育の在り方や地域のかかわり方が重要視されています。市は、学校や地域と連携し教育や健康など、さまざまな問題をテーマに「家庭教育セミナー」を開催し、知識の習得や理解を深める取り組みを行っています。今回は、7月までに開催した5地区の取り組みを紹介します。

「いのち」の大切さを伝える(遠野町)

6月30日、遠野小学校合同教室で、中央診療所の守口尚たかし医師=写真=が「子どもの健康づくり—最近の若いもんは—」と題して講演しました。

守口医師は、テレビゲームでは脳の前頭前野は鍛えられず、生と死の実感を得ることができないことを説明し、生の続きには必ず死があるという現実と「いのちの大切さ」を伝えることの重要性を訴えました。



人との「出会い・付き合い」(小友町)

7月11日、小友中学校体育館で、花巻市教育委員会東和教育事務所長の役重眞喜子やくしげまきこさん=写真=が「地域や家庭とともに子どもを育む」と題して講演しました。

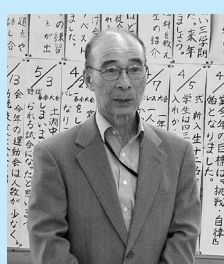


役重さんは、農林水産省を退職して旧東和町職員となった体験をもとに、「近所付き合い」こそが地域の良さであり、良い出会いが人生を変え、人付き合いが自分を支える基盤となっていると話しました。

子育てにおける親の役割(附馬牛町)

6月25日、附馬牛中学校多目的ホールで元附馬牛中学校長の菊池健次きく池けんじさん=写真=が「中学生の親として—子育てのポイント—」と題して講演しました。

菊池さんは「子どもの話に共感し、一緒に考えてあげることが大切であり、子育てには地域の力も借りる気持ちが必要」と話し、「地域の皆さんが、どのようにかわり、支えられるのかを考えてほしい」と呼び掛けました。



地域と学校のつながり(附馬牛町大出)

7月11日、大出小中学校図書室で盛岡大学評議員の本田正弘ほんまさひろさん=写真=が「家庭・地域の果たす役割『早寝・早起き・朝ごはん』」と題して講演しました。



本田さんは、子育てや教育では「考えること」が重要と話したほか、大出小初代校長である自分の父親の思い出話をしながら、学校がなくなっても、大出小中学校の歴史を若い人たちに伝えてほしいと話しました。

健康な体づくりのために(土淵町)

7月11日、土淵地区センター伝承ホールで、特定非営利活動法人(NPO法人)日本成人病予防協会認定健康管理士の高橋秀人たかはしひでおとさんが「健康的に過ごすための体づくり」と題して講演しました。

高橋さんは、片栗粉と味噌を使った実験で、酵素の働きが目に見えるように示したり、ファーストフードの食事だけで30日間過ごした人の話をもとに、偏った栄養の食生活が健康に影響を及ぼすことを説明。健康な体づくりには栄養のバランスなど「食生活」を見直すことが重要であることを強調していました。

各地区で開催されたセミナーの参加者からは「日常を見直すきっかけとなった」や「きょう聞いたことを、家族で話し合ってみよう」など、家庭での課題やこれからの生活について、多くの感想が寄せられました。

「家庭教育セミナー」は、今回紹介した以外の地区でも開催されます。どなたでも参加できますので、お近くの会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

日程や会場など詳しいことは、社会教育課生涯学習係にお問い合わせください。



班ごとに分かれて1年間の目標などを決める児童と子ども活動サポーター

楽しみながらふるさとの良さを発見

年少少女ふるさと発見探偵団の開設式と一回目の活動は七月一日、市民体育館で行われ、市内の小学四年から六年までの児童二十九人が参加。交流ゲームやニュースポーツで交流を深めました。開講式で及川増徳あきのり教育長が「たくさんの方達をつくって、楽しい活動にしていきたいと思います」とあいさつ。交流ゲームの後、五つの班に分かれて、班の名称やことし一年間の目標を決めました。

午後、班対抗のニュースポーツ大会を行い、五種目すべてに好成績を残したチーム「なでしこJAPAN」が二位に三十点以上の差をつけ優勝しました。

ふるさと発見探偵団では、高校生を中心とした「子ども活動サポーター」が子どもたちの活動を支えていて、この日は十一人が参加。荒川哲也あらかひてつやさん(緑峰高三年)は「ボランティアに興味があり参加しました。子どもたちの活動を支えるのは、思っていたより大変でした。一年間、探偵団のみんなと一緒に楽しみたいです」と話していました。ふるさと発見探偵団は本年度、登山や乗馬体験など、遠野の自然を生かした全七回の活動を予定。次回は、八月に柏木平河川公園などで二泊三日のキャンプを行う予定です。



フリスビーを的に当てて点数を競う種目「ストラックアウト」を楽しむ参加者

「遠野物語検定」に挑戦してみませんか
遠野物語研究所は、遠野物語の世界を多くの人に知ってもらうため「遠野物語検定」を行っています。
「地域検定は、地域の歴史や文化に関する知識を持つ人を認定するもので、全国各地で行われています。地域の歴史や文化を知ることにより、おもてなしの質が向上し、地域のブランド価値も高まることを期待されています。」
あなたの遠野物語認知度はどれくらいか、挑戦してみませんか。遠野物語に関する初級の問題を出題し、八十点以上の人に合格証を贈るほか、ホームページに氏名などを掲載します。
■解答方法 遠野物語研究所のホームページ(h t t p://www.tnkenkyu.com)に掲載している問題を解き、所定の解答用紙に記入してください。
■申し込み方法 解答用紙に八十円切手を貼った返信用封筒を添えて、持参または郵送してください。
申し込み・問い合わせ先 〒028-00523 遠野市中央通り二番十一号 遠野物語研究所(☎@0809)

新市誕生記念 「第1回市民グラウンドゴルフ交流大会」

- ◆日時=9月9日(土)午前8時50分開会
- ◆会場=運動公園軽スポーツ広場ほか
- ◆対象=市内にお住まいの中学生以上の人
- ◆競技方法=24ホールストロークの団体戦と個人戦
- ◆参加料=500円(大会当日、受け付けで納付してください)
- ◆申し込み方法=所定の用紙に必要事項を記入の上、持参またはファクスでスポーツ健康課に提出してください。申込用紙は、スポーツ健康課のほか、各地区センター、市グラウンドゴルフ協会事務局(☎@5288)、宮守町グラウンドゴルフ協会事務局(☎@2829)に用意しています。
- ◆申し込み締め切り=8月25日(金)
- 申し込み・問い合わせ先=市民センタースポーツ健康課(FAX @2789)



参加者募集

隔月で発行していた「学習情報版 学びのいずみ」は、五月号から毎月「広報遠野」に掲載しています。